

伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する  
施設整備計画（一部改定）

令和3年6月

伊勢市  
伊勢市教育委員会

## 目次

I	はじめに	．．．	2
II	公立施設のあり方について ～ 整備方針より抜粋	．．．	2
III	就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画		
1	計画の期間	．．．	3
2	各施設の整備計画	．．．	3
IV	おわりに	．．．	6
V	関係資料		
1	公立施設整備計画表	．．．	7
2	各施設の入園状況	．．．	8
3	各公立施設の耐用年等	．．．	9
4	伊勢市管内保育所、幼稚園、認定こども園位置図	．．．	10

### ※令和3年6月一部改定

令和6年度までの計画期間の半分が経過したこと、また、状況の変化に伴い、計画の変更及び時点修正を行う。

(変更箇所)

### III 就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画

#### 2 各施設の整備計画

## I はじめに

就学前の子どもの教育・保育の整備を進めるため、伊勢市では前方針として「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」を平成19年8月に策定し、同じく前計画として「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画」を平成21年2月に策定しました。前計画では第一次計画として平成21年度から平成25年度までの5カ年の計画を策定することにより、就学前の子どもの教育・保育における公立施設のあり方を示し、その整備に取り組むこととしました。

しかしながら、国において幼稚園・保育所に関する制度の抜本改革の検討が始まったことから、当市の方針・計画を当面凍結することとし、新たな制度を踏まえた方針・計画を改めて定めることとしました。

新たな整備方針の策定に先立っては、有識者や幼稚園・保育所関係者、保護者などにより構成する「伊勢市就学前の子どもの教育・保育に関する検討委員会」を設置し、伊勢市の子どもたちが、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことのできる教育・保育環境の実現を最重要課題として、伊勢市における就学前の教育・保育のあり方について検討を行い、平成25年2月に提言をいただきました。その提言を踏まえ、平成26年2月に新たな「伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する整備方針」を策定しました。

現在、伊勢市には建築後30年以上経過した施設が公立幼稚園においては3施設、公立保育所においては11施設あり、施設の老朽化が進んでおります。また、近年における私立保育所の創設、あるいは私立幼稚園の認定こども園への移行などにより、前計画の策定時から市内の教育・保育施設の配置状況も変化しております。

先に策定をしました方針に基づき、就学前の子どもに対する望ましい教育・保育環境の整備を図ることを目的とした計画を新たに策定することで、公立の幼稚園及び保育所等の施設整備に関する将来構想を示し、今後の整備に取り組んでまいります。

## II 公立施設のあり方について ～ 整備方針から抜粋

### ① 保・幼・小・中の連携を含む実践研究等の中核的な役割

公立施設においては、保幼小の連携等、実践的な研究をすることで、教育・保育の課題を明確にして、伊勢市独自の標準的なカリキュラムを明示するなど幼児教育の中核的な役割を担う。

### ② 特別支援教育の中心的役割

公立施設においては、特別支援教育に積極的に取り組み、支援が必要な幼児への適切な支援や、子どもの発育に不安や悩みを抱く保護者へのアドバイス等を行う。また、関係機関での研修や関係機関が開催する研修会等への積極的な参加に努め、特別支援教育に関する職員の資質向上・意識向上を目指す。知識や経験を持った人材の育成や配置を進めて保育の充実を図り、特別支援教育体制整備を推進する。

③ 多様な保育ニーズへの対応

園庭開放や子育て相談等の子育て支援に努め、未就園児も利用しやすい地域に根付いた施設を目指す。

各地域の実情に応じて、延長・休日保育や一時保育などの多様なニーズへ対応できる拠点的な施設が必要であり、私立施設との調整のもとで、公立施設はそれを積極的に担う。

④ 公立施設の整備・整理方針

少子化に伴い園児数が減少しており、「民間にできることは民間に」を基本に公立施設の整理統合を行う。整理統合にあたっては、人口分布、保育ニーズ、施設の態様、民間施設を含めた既存施設の配置状況等を勘案した上で、多様な保育サービスを提供する施設として整備することを基本に、市全体の適正配置を図ることとする。既存の公立施設のうち、子育て支援センターの併設や多機能化に対応できる施設を各地域における拠点として整備し、他の施設については、統合や民間への移管等により整理する。

なお、教育の質を確保するという観点から、集団の最低人数（15人）を下回った幼稚園については整理する。

⑤ 施設の整備について

老朽化に伴う施設改修に加え、津波等防災対策は喫緊の課題であるので、防災の観点も踏まえ、私立との共存、子育て支援等の充実を総合的に捉えて計画的に施設を整備する。

### Ⅲ 就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画

#### 1 計画の期間

平成27年度から令和6年度までの10年間を計画期間として取り組む。

ただし、計画期間中であっても、子ども・子育て支援法に基づく市の子ども・子育て支援事業計画との整合を図るために、必要がある場合は計画の見直しを検討するものとする。

#### 2 各施設の整備計画

Ⅱに示した公立施設のあり方を踏まえ、現存の公立施設のうち子育て支援センターの併設や多機能化に対応できる施設を存続させることとし、各地域における拠点として整備していく。他の施設については、統合や民間への移管等により公立施設のスリム化を図る。

この計画に沿って整理・統合をするにあたっては、就学前の教育・保育の質を低下させないこと、待機児童が生じることのないことが前提であり、施設の民間への移管・運営委託等にあたっての適切な事業者がない場合は、当面公立施設として存続していくこととする。

① 明倫保育所

近隣の幼稚園の認定こども園への移行が影響し、保育需要は減少傾向にあるが、併設している子育て支援センターとともに地域の子育て支援の拠点的役割を担う公立施設として本計画期間内は存続させていく。

ただし、建物の耐用年限までは相当年数を有するが、築後 30 年を経過しており大規模修繕の必要があるため、今後の保育需要の動向を見て、次期計画において施設の方向性を検討する。

② 浜郷保育所

周辺地域における宅地開発や利便性のよい立地などで保育需要は今後も安定して推移すると思われる。現在の施設は送迎に課題があり学校や地域との調整が必要であることや、利用者の分布においても幅広い地域からの利用が多い等、立地を考慮する必要がある。そのため、本計画期間内は公立施設として存続するが、次期計画において同学区内の他の場所での民間への移管・運営委託も視野に入れ、検討する。

③ 大世古保育所

平成 29 年度に移管先法人を決定し、平成 30 年度末をもって閉園した。

令和元年度からは、いせの杜保育園として運営が開始された。また、令和 5 年度末までに同法人により園舎の建替えが予定されている。

④ 保育所きらら館

平成 19 年度に、3 保育所を統合し新築した施設であり、送迎利便性のよい立地であることから保育需要の非常に高い施設である。また、子育て支援センターを併設するとともに、延長・休日保育、一時保育を実施する多機能保育所であり、今後も本市における子育て支援のモデル的役割を果たす施設として公立施設として存続させていく。保育需要の拡大を視野に入れ、全館を一体的な施設として、効率的な運営ができるよう施設を整備することを検討する。

⑤ 二見浦保育園

施設規模に対して入所児童数は少ないが、子育て支援センターを併設するなど二見地区の中心的施設である。建物の耐用年限までは相当の年数を有しているが、津波浸水の危険度が高い立地であり、令和 5 年度に二見地区内の五峰保育園、高城保育園と統合したうえで高台移転する。

子育て支援センターを併設し、延長保育を実施し、二見地区における拠点施設として公立で運営していく。(⑥・⑦と関連)

⑥ 五峰保育園

建物の耐用年限は平成 30 年に到来したが、平成 18 年度に耐震補強を含めた改修工事を行っており、施設は当面維持できる。また、近隣の宅地開発により保育需要が高く、入所児童数は今後も同程度で推移すると思われる。

令和5年度に二見浦保育園、高城保育園と統合したうえで高台移転する。(⑤・⑦と関連)

⑦ 高城保育園

入所児童数の減少が著しく、令和5年度に二見浦保育園、五峰保育園と統合したうえで高台移転することに先立ち、令和2年度末をもって閉園する。(⑤・⑥と関連)

⑧ 保育所あけぼの園

令和元年度に移管先法人を決定し、令和2年度末をもって閉園する。

令和3年度から(仮称)えがおあけぼの保育園として運営を開始する。

⑨ 保育所しらとり園

待機児童対策として令和元年度に定員変更を行い、乳児保育に対応する施設としたが、依然として保育需要の高い施設である。また、建物の耐用年限まで相当の年数を有する施設である。

3歳未満児の保育室の配置に課題があり施設を整備する必要がある。そのため、本計画期間内は公立施設として存続するが、次期計画において民間への移管・運営委託も視野に入れ、検討する。

⑩ 保育所ゆりかご園

周辺の大規模宅地開発により保育需要が非常に高い施設であり、建物の耐用年限まで相当の年数を有する施設でもあることから、公立施設として存続させていく。

将来的には小俣幼稚園との統合による認定こども園への移行も視野に入れ、多様なニーズに対応した小俣地区の拠点的役割を担っていく。

⑪ 御菌第一保育園

送迎利便性がよく保育需要の高い施設である。

令和元年度に、近接する御菌総合支所内に子育て支援センターと一時保育を開設した。今後、延長・休日保育を実施することにより多機能化を図り、御菌地区における中心的役割を担う公立施設として存続させていく。

建物の耐用年限までは相当年数を有するが、築後40年以上経過しており設備・内装等の老朽化が進んでいることから令和2年度に大規模修繕を実施している。

⑫ 御菌第二保育園

施設規模に対して入所児童数が少ない状況である。

平成29年度に民間への移管に係る公募を行ったが、移管先法人の応募がなかった。

周辺地域の避難施設として指定を受けていることを踏まえ、近隣の私立保育園等の動向を見ながら、本計画期間内は、公立施設として存続する。

⑬ しごうこども園

平成 23 年度にあさま保育所と四郷幼稚園を統合し新築した幼保連携型認定こども園である。一時保育の実施、子育て支援センターの併設により地域の子育て支援の拠点的役割を担っている。また、当市における認定こども園の先進的取り組みの実践施設として機能している。

今後は、保幼小の連携等の実践研究施設として公立で存続させていく。

また、発達段階をふまえ、集団での生活の中で社会性や自立の基礎を育むために、短時間部での 3 歳からの幼児教育について平成 28 年度に開始した。

⑭ 小俣幼稚園

当該地域の保育需要は安定している。多様なニーズに対応した幼児教育の中心的な役割を担い、将来的にはゆりかご園との統合による認定こども園への移行も視野に入れ、公立施設として存続させていく。

⑮ 明野幼稚園

毎年各年齢ともに定員に近い入園希望があることから保育需要は安定しており、地域のニーズは高い。民間へ委ねることが基本であるが、土地と建物が三重県所有であるため民間への移管ができず、当面これまでのように借用して公立施設として存続させていく。

⑯ 神社幼稚園

園児数の減少が著しく、令和 2 年度末をもって休園する。また、津波浸水による影響を強く受ける立地にあることから廃止することとし、周辺の施設に幼児教育を委ねていく。

⑰ 城田幼稚園

園児数の減少が著しく、平成 28 年度末をもって休園した。

⑱ その他

現在、休園している公立幼稚園（豊浜西幼稚園、豊浜東幼稚園、北浜幼稚園、沼木幼稚園、早修幼稚園）については廃止する。

## IV おわりに

平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援新制度が本格施行され、公立施設だけでなく、民間施設も含め市内の幼稚園・保育所等を取り巻く状況が変化していくことが予測されます。

この計画は、子ども・子育て支援新制度を受けての民間施設の動向や、将来人口推計の変化、あるいは今後策定を予定している公共施設等総合管理計画やその他関連計画等との整合を図りながら、適宜本計画を見直し、ニーズに合った整備を進めてまいります。

## V 関係資料

【公立施設整備計画表】

	計画当初		⇒	改定時	⇒	整備内容	整備後
	H26.12			R3.		R7.3	
保育所	①	明倫保育所	⇒	存続	⇒	存続	明倫保育所
	②	浜郷保育所	⇒	存続	⇒	存続	浜郷保育所
	③	大世古保育所	⇒	民間移管	⇒	民間移管	いせの杜保育園（私立）
	④	きらら館	⇒	存続	⇒	存続	きらら館
	⑤	二見浦保育園	⇒	存続	⇒	統合	(統合保育所)
	⑥	五峰保育園	⇒	存続	⇒		
	⑦	高城保育園	⇒	廃止	⇒	民間移管	(仮称) えがおあけぼの保育園 (私立)
	⑧	あけぼの園	⇒	民間移管	⇒		
	⑨	しらとり園	⇒	存続	⇒	存続	しらとり園
	⑩	ゆりかご園	⇒	存続	⇒	存続	ゆりかご園
	⑪	御菌第一保育園	⇒	存続	⇒	存続	御菌第一保育園
	⑫	御菌第二保育園	⇒	存続	⇒	存続	御菌第二保育園
	⑬	しごうこども園（保）	⇒	存続	⇒	存続	しごうこども園（保）

幼稚園	⑬	しごうこども園（幼）	⇒	存続	⇒	存続	しごうこども園（幼）
	⑭	小俣幼稚園	⇒	存続	⇒	存続	小俣幼稚園
	⑮	明野幼稚園	⇒	存続	⇒	存続	明野幼稚園
	⑯	神社幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	
	⑰	城田幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	
	⑱	豊浜西幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	
		豊浜東幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	
		北浜幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	
		沼木幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	
		早修幼稚園	⇒	休園	⇒	廃止	

保育所	13
幼稚園	10

10
10

保育所	9
幼稚園	3

※丸数字はP3～P6に記載の各施設の番号

※しごうこども園については、幼稚園・保育所の両方に計上



【各施設の入園状況】

施設名	公立 私立	定員	所在地	入所児童数			充足率 (R2)	
				H21	H26	R2		
幼稚園	神社幼稚園	公	50	神社港	37	18	4	8.00%
	城田幼稚園	公	0	上地町	26	15	-	-
	小俣幼稚園	公	200	小俣町本町	141	153	131	65.50%
	明野幼稚園	公	70	小俣町明野	68	61	46	65.71%
	しごうこども園（幼）	公	30	一字田町	17	8	7	23.33%
	有緝こども園（幼）	私	45	船江2丁目	121	124	35	77.78%
	中島こども園（幼）	私	30	中島2丁目	65	47	34	113.33%
	めいりんこども園（幼）	私	35	岡本1丁目	76	75	48	137.14%
	常盤幼稚園	私	25	岩淵1丁目	24	28	15	60.00%
	まるこ幼稚園	私	60	一之木1丁目	51	57	38	63.33%
	神宮高倉山幼稚園	私	180	八日市場町	56	53	43	23.89%
	神宮五十鈴川幼稚園	私	200	宇治中之切町	76	36	32	16.00%
	双康幼稚園	私	90	黒瀬町	119	103	97	107.78%
	ゆたかこども園（幼）	私	130	御菌町王中島	278	261	95	73.08%
	修道こども園（幼）	私	40	楠部町	59	49	28	70.00%
	和順こども園（幼）	私	75	小俣町元町	133	43	58	77.33%
	暁の星こども園（幼）	私	75	小俣町本町	116	145	50	66.67%
	マリアこども園（幼）	私	5	岡本1丁目	-	-	1	20.00%
	保育所	明倫保育所	公	90	吹上2丁目	79	78	62
浜郷保育所		公	120	黒瀬町	117	94	99	82.50%
保育所きらら館		公	75	常磐2丁目	75	75	77	102.67%
二見浦保育園		公	200	二見町荘	152	117	100	50.00%
五峰保育園		公	100	二見町山田原	110	86	74	74.00%
高城保育園		公	60	二見町今一色	47	36	7	11.67%
保育所あけぼの園		公	125	小俣町明野	121	116	124	99.20%
保育所しらとり園		公	80	小俣町湯田	70	58	73	91.25%
保育所ゆりかご園		公	150	小俣町本町	150	151	129	86.00%
御菌第一保育園		公	180	御菌町長屋	172	171	159	88.33%
御菌第二保育園		公	150	御菌町高向	94	81	77	51.33%
しごうこども園（保）		公	95	一字田町	53	95	95	100.00%
有緝こども園（保）		私	96	船江2丁目	-	-	98	102.08%
中島こども園（保）		私	73	中島2丁目	-	-	68	93.15%
めいりんこども園（保）		私	102	岡本1丁目	-	-	76	74.51%
ゆたかこども園（保）		私	162	御菌町王中島	-	-	159	98.15%
いせの杜保育園		私	80	大世古4丁目	151	116	76	95.00%
大湊保育園		私	60	大湊町	83	49	52	86.67%
一色保育園		私	90	一色町	133	127	92	102.22%
村松保育園		私	45	村松町	32	51	32	71.11%

施設名	公立 私立	定員	所在地	入所児童数			充足率 (R2)	
				H21	H26	R2		
保育所	船江保育園	私	90	船江3丁目	71	85	101	112.22%
	たけのこ保育園	私	100	常磐町	100	102	123	123.00%
	マリアこども園 (保)	私	115	岡本1丁目	125	121	101	87.83%
	東大淀保育園	私	60	東大淀町	73	52	43	71.67%
	豊浜西保育所	私	120	磯町	143	140	107	89.17%
	みどり保育園	私	40	矢持町	28	32	30	75.00%
	有滝保育園	私	30	有滝町	46	35	27	90.00%
	中須保育園	私	100	中須町	108	108	97	97.00%
	佐八保育園	私	60	佐八町	76	64	58	96.67%
	みやま保育園	私	90	旭町	101	99	81	90.00%
	なかよし保育所	私	45	勢田町	50	47	41	91.11%
	えがお保育園	私	60	小俣町元町	-	69	63	105.00%
	あけの保育園	私	90	小俣町新村	-	108	100	111.11%
	修道こども園 (保)	私	120	楠部町	-	102	139	115.83%
	和順こども園 (保)	私	60	小俣町元町	-	66	44	73.33%
	暁の星こども園 (保)	私	175	小俣町本町	-	50	166	94.86%
にこにこ保育園 (小規模)	私	19	小俣町本町	-	-	22	115.79%	

※定員については令和2年4月1日時点、入所児童数については各年度とも5月1日時点。

【各公立施設の耐用年等】

施設名	所在地	建築年	構造	耐用年限	
幼稚園	神社幼稚園	神社港	平成3年	鉄筋コンクリート造	令和33年
	城田幼稚園	上地町	昭和58年	鉄筋コンクリート造	令和25年
	小俣幼稚園	小俣町本町	昭和54年	鉄筋コンクリート造	令和21年
	明野幼稚園	小俣町明野	昭和46年	鉄筋コンクリート造	令和13年
保育所	明倫保育所	吹上2丁目	昭和58年	鉄筋コンクリート造	令和25年
	浜郷保育所	黒瀬町	昭和56年	鉄筋コンクリート造	令和23年
	大世古保育所	大世古4丁目	昭和50年	鉄骨造	平成27年
	きらら館	常磐2丁目	平成19年	鉄骨造	令和29年
	二見浦保育園	二見町荘	昭和57年	鉄筋コンクリート造	令和24年
	五峰保育園	二見町山田原	昭和53年	鉄骨造	平成30年
	高城保育園	二見町今一色	昭和46年	鉄骨造	平成23年
	あけぼの園	小俣町明野	昭和51年	鉄筋コンクリート造	令和18年
	しらとり園	小俣町湯田	昭和52年	鉄筋コンクリート造	令和19年
	ゆりかご園	小俣町本町	昭和50年	鉄筋コンクリート造	令和17年
	御菌第一保育園	御菌町長屋	昭和47年	鉄筋コンクリート造	令和14年
	御菌第二保育園	御菌町高向	昭和48年	鉄筋コンクリート造	令和15年
しごうこども園	一宇田町	平成23年	鉄骨造	令和33年	

# 伊勢市管内

保育所  
幼稚園  
認定こども園

# 位置図



○公立保育所  
●私立保育所

□公立幼稚園  
■私立幼稚園

△公立認定こども園  
▲私立認定こども園

